

'00.3

月刊アート

'00.3

Contents.

Poems Gallery.

Poem's info. "Nifty Serve".

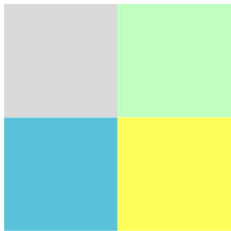
CG Gallery. All Pictures by Yoshi.

My Like Design. "SANYO[DSC-200]".


LLM STAFF Invite.

Acrobat Reader の表示を、「**全体表示**」にすることをお勧めします。**[表示]** **[全体表示]**で設定が変わります。

また、大きなディスプレイでご覧の方は、見開き表示にすると、さらに見やすくなるかと思えます。**[表示]** **[見開きページ]**をクリックしてください。



Poems Gallery.



ゆとりメール

ボクにとってかわいいひとくちサイズの君に描くラブレターは
何よりも小さくて
あたたかいと思うよ
まだ君は気分屋のまま寝起きの声
二人分の幸せをどうぞ
そうって差し出したモデルを見て
笑うその笑顔のために今日はゆっくりしようか？

Poem
by
Ippei
Nakasatoh





忘レタフリヲシテ
リンゴハ アイカワラズ赤イノニ
黄色ダト言イハル
ソナ事シタッテ何モ変ワラナイノニ
ソレドコロカ
リンゴハ マスマス赤クナッテユクノニ

Poem
by
由香屁



Poem
by
Yoshi



ケンカをするから
仲の良いことに喜びを感じる

寂しい時間があるから
楽しい時間を満喫できる

そういうやりとりがあったから
愛情を膨らますことができたのだろう

詩

情報

今のインターネットの世界って、何だかんだ言ってもやっぱり文章、文字が主流です。そして、ディスプレイの画面は疲れるという方が多く、あまり文章量の多くない、読みやすいものが好まれるようです。

そうになると、比較的文章としては短く、読みやすい(?) 詩を載せるにはもってこい

なのであります。事実、様々な詩のホームページが存在します。

このコーナーでは、そんな詩のページから私なりに厳選しまして、紹介したいと思います。

定番中の定番や、ちょっとマニアックな情報まで(?) 様々な視点から取り上げていきたいと考えています。

詩を見せたいのならココ！

NiftyServe



ニフティのホームページ。会員登録はオンライン上でも行えます。

パソコン通信というのをご存知ですか？よく、インターネットと混在してしまう方がいるようですが、ちょっと違います。

インターネットは世界規模で展開されていますが、パソコン通信の場合はその設立した会社内だけでの展開なのです。まあ、簡単に言えば、内輪だけの飲み会をパソコン通信、合コンをインターネットとってください（なんじゃそりゃ（^^；））

パソコン通信の世界では基本は文字だけ

です。個人まりとした世界なので、どうやら管理者の目が隅まで届くようです。各分野の項目別にスッキリと別れています。さらに、その分野のコーナーにも、専用の管理者がいるのでインターネットの世界に比べて、キッチリとした感じがします。

そのパソコン通信の最大手の会社が「Nifty（ニフティ）」です。この会員数は、なんと200万人以上いると言われています。日本のインターネット人口が1800万

人いることを考えると、少なく感じますが、内容から言うと、パソコン通信の方がはるかに濃いのです。

んで、そこにある、「詩のフォーラム」と言われる場所。これがかなり盛んです。パソコン通信には、掲示板のようなものがあります。各分野のコーナーごとに設置してあり、そこに色々な人が書き込んでいくわけです。

詩のフォーラムの場合は、当然、そこには様々な人の詩が嫌というほど載っています。そして、個人まりとした空間に、200万人もの人がいるわけですから、無限空間のインターネットに比べて、当然感想なんかも結構な確率でもらえたりするのです。

しかも、お望みであるならば、作った詩の批評までしてくれるところまであります(ただし、相当自信のある方でないと、メチャクチャ言われてしまいます。私も批判されたひとりです(^;あの際はショックでしたばらく立ち直れなかった

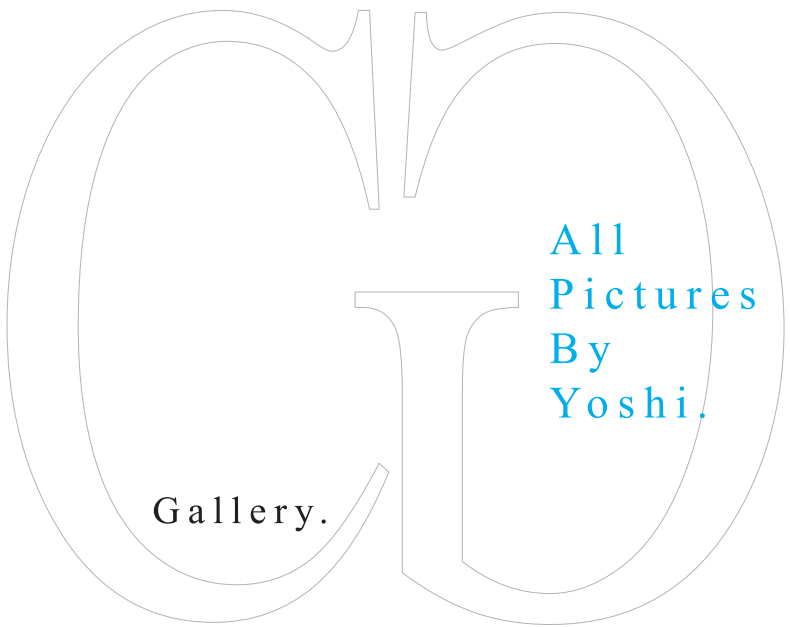
(TT))

「Nifty」の場合、インターネット経由の接続だと、月々1200で会員になれます。特典として、メールとかホームページのスペース(LLMもNiftyのホームページを利用して発信しています)まで付いてくるので、かなりお得だと思うのですが。

自分の詩の向上を目指しているかたは、Niftyはおすすりめですよ(私はNiftyの回し者ではありませんのであしからず(^;)- (記事: Yoshi)



パソコン通信の観覧には、Telnetやニフティーマネージャーなどの専用ソフトで見ることが快適ですが、ブラウザ上でも見ることができます(画像は「詩のフォーラム」)。TelnetはWindowsの付属ソフト・ニフティーマネージャーはフリーソフトで、雑誌などの付録のCD-ROMなどに収録されています。インターネット上でもダウンロードできますが、容量が大きいのでお勧めできません。



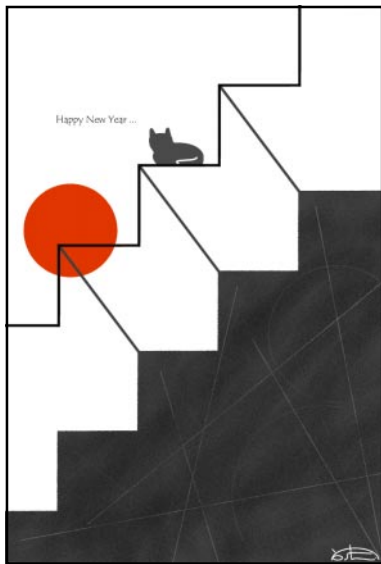
Gallery.

All
Pictures
By
Yoshi.

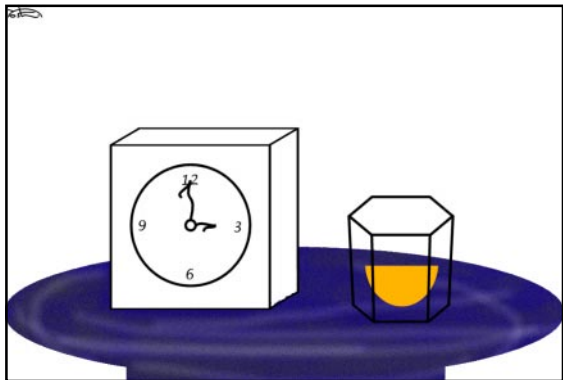
テーマは「カッコイイ物・光景」

技術はありません。

雰囲気味わってください。



100*148 A HAPPY NEW YEAR 2000

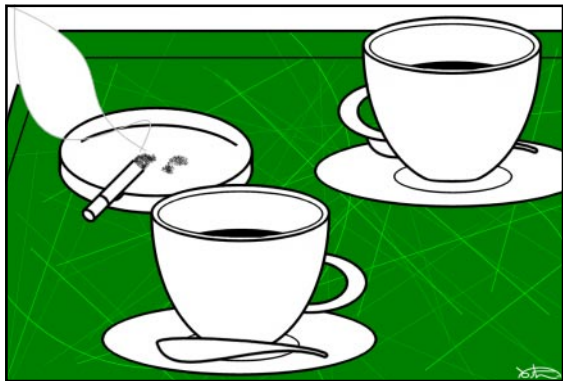


148*100 安らぎ

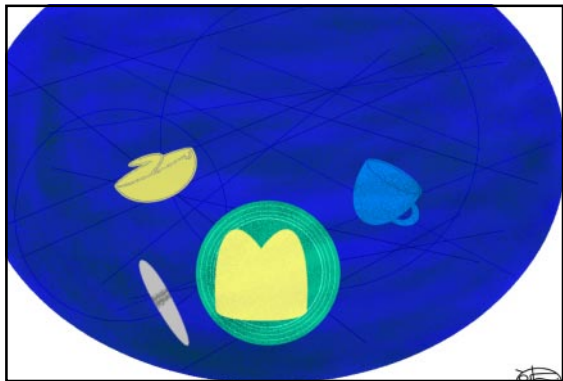
ポストカードを作りたくて描き始めました。

小さいものが大好きなんです。

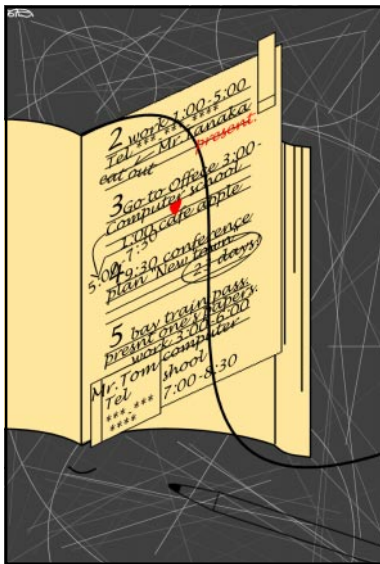
プリンタのインク代が安く済むというのもありますけど(笑)



148*100 安らぎ



148*100 朝食



148*100 忘れたくないもの

見てくれてありがとう。
人に見てもらえるということは
とても嬉しいし、やる気が出ます。
そして必ず次に繋がるという確信も得ます。
次回もよかったら見てください。

今、私が最も欲しいデジカメ。それは、SANYOの[DSC-200](写真は次ページ)。

このデジカメの一番の売りは、シャッタースピードの速いことと、動画が撮影できること。なんと、撮影してから次の撮影までの時間は0.75秒だというのだから驚き！動画は、標準で最大30秒、エコノミーだと120秒まで録画できます。もちろん、別売りの大容量のスマートメディア(フロッピーディスクのように記録できて、小さく、そして記録できる容量が大きいもの)を買えば、さらに長い時間録画することができます。

でも、なんとと言ってもこのデザインは、私の知る限りではデジカメ業界にはないもの。デジカメは、普通のカメラに比べて割高であることと、パソコンというちょっと高級な道具とリンクすることを前提として考えられていることから、高級志向で作られてきたんだと思い

ます。その結果、巷にあるデジカメは、いかにも精密に作られてるぞ！ってな感じのものばかりが出回っています。ちょっとでも落としたり壊れてしまいそうなガラスみたいな感じです。本当ならば、近所の公園からアウトドアまで、どんな場面でも活用するみたからに頑丈なものとか、身近な存在であってほしいはずです。

DSC-200はそんな普通の要求を満たしてくれるものがあります。

デザイン的に見て、すごく安心できるものがありますし、若い人達からもウケが良さそうなボディをしています。高級志

向のデジカメは、毎日持ち歩くにはかなりの抵抗がありますが、DSC-200なら全然OKでしょう。まさに本来の「カメラ」がここにあるのです。

80万画素と、今の200～万画素数に比べると、性能面で劣っているように見えます



が、私は逆にこのデジカメにはこれくらいが丁度いいと思います。200万画素もあつたら、撮影枚数に限りがでてしまいますし、なんせ庶民的なマシンに合った、庶民的な画素数でしょう(ちょっとこじ付け(笑)いやいや、本当にそう思っているのです(^;))

とにかく、お金を貯めて、早く買いたいなー(なんちゅう終わりかた(^;))-記事:
Yoshi

[1999/12/6 現在]

SANYO ホームページ

<http://www.sanyo.co.jp/>



ピンクとブルーの色も選べる。ただし限定生産とのこと。個人的にはピンクの方が合っていると思う。



丸みのあるボディは、可愛らしさだけでなく、丈夫そうな感じがする。

LLM STAFF の募集

定期的な作品の投稿をしてくださるスタッフを募集しています。

投稿物の種類は次の通りです。

(1) 詩

散文詩・歌詞その他詩と名のつく作品。

(2) 詩に関する記事やエッセイ

詩に役立つようなホームページの紹介記事や詩について思うこと、批評等。

(3) デザイン関係のエッセイや記事

デザイン(種類は問いません)について思うこと、デザイン性に優れたホームページの記事、批判等。

その他、新しいアイデア等の企画でもOK。

興味を持たれた方は、llm@mbc.nifty.com まで。

編集後記

DTPは初心者で、色々戸惑ったりと大変でしたが、どうにか作り上げることができました。

LLMのスタッフの連中が、就職活動やら何やらで、作品を書けそうにないということで、私個人の作品集みたいな感じになってしまいました。特に代表のIpei氏に至っては、個展を開くということで、かなり大変なようです。

まあ、とりあえずは出来たので「祝」ということでまるーく収めておきましょう。(Yoshi)

月刊アート 3月号

平成 12 年 3 月 10 日 発行

構成・デザイン Yoshi

発行所 LLM

<http://homepage1.nifty.com/LLM/>

llm@mbc.nifty.com

作品スタッフ

詩

Ippei Nakasatoh

由香屁

Yoshi

CG

[Yoshi\(kare@fb3.so-net.ne.jp\)](mailto:Yoshi(kare@fb3.so-net.ne.jp))